

報道関係者 各位

アメリカ合衆国の臨界前核実験に対する抗議について

標記のことについて、アメリカ合衆国が本年2月13日に臨界前核実験を実施したとの報道に接し、抗議文を送付しましたので、お知らせします。

1. 添付資料 在本邦アメリカ合衆国大使館 特命全権大使あて抗議文

2. その他

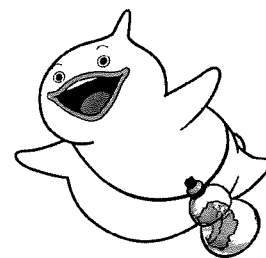
【参考】これまでの島原市からの抗議日等

抗議日	抗議先
(北朝鮮の核実験に関して)	
1回目 平成18年10月10日	朝鮮民主主義人民共和国
2回目 平成21年 5月25日	//
3回目 平成25年 2月13日	//
4回目 平成28年 1月 7日	//
5回目 平成28年 9月 9日	//
6回目 平成29年 9月 6日	//
(核兵器の限定的先制使用を想定した軍事演習に関して)	
1回目 平成27年 4月10日	ロシア
(新型の核性能実験に関して)	
1回目 平成23年 5月24日	米国
2回目 平成24年 1月10日	米国 (2度実施)
3回目 平成24年 9月20日	米国
4回目 平成24年 9月25日	米国
5回目 平成25年 3月13日	米国
6回目 平成25年 8月21日	米国
7回目 平成25年10月31日	米国
8回目 平成26年11月 7日	米国
(臨界前核実験に関して)	
1回目 平成23年 7月21日	米国
2回目 平成24年12月10日	米国
3回目 平成29年12月13日	米国
4回目 平成31年 2月13日 (今回)	米国

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当・島原市 市長公室 政策企画課
政策班 担当 荒木
電話：0957-62-8012
E-mail・seisaku@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

在本邦アメリカ合衆国大使館 特命全権大使
ウィリアム・F・ハガティ 閣下

抗 議 文

先日、貴国が2017年12月に続き、2019年2月13日に再び臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

国連で核兵器禁止条約が採択され、国際社会が「核兵器のない世界」の実現に向けて努力するなか、核兵器保有や新たな核兵器開発へつながる核実験を実施することは、全世界の核廃絶と平和への願いに反する行為であり、被爆県長崎の一都市として厳重に抗議します。

今回の貴国の行動は、第2回米朝首脳会談が開催された時期に行われていることから、北朝鮮側の不信感をあおり、今後の交渉に悪影響を及ぼすのではないかと懸念され、また、核兵器廃絶の機運が高まる国際情勢に反し、多くの人々の平和への願いを裏切る、断じて容認できない行為であります。

「世界の平和を希求し、核兵器の廃絶を願う」私たち島原市民の意思を厳粛に受け止め、貴国がこれ以上いかなる核実験も繰り返すことのないよう強く要請します。

以上、本国へも伝達されるようお願いいたします。

令和元年（2019年）5月28日

長崎県 島原市長

古川 隆三郎

